

2019年(令和元年)8月29日(木曜日)

中 旬 報

フィリピンの子へと 野球ボールの贈呈式

大垣キワニスクラブ

子どものための奉仕団体「大垣キワニスクラブ」(大垣市郭町)は、地域で使わなくなった軟式野球ボールを交流のあるフィリピンのマニラキワニスクラブを通じて同国の子どもたちに贈るため、大垣フォーラムホテルで贈呈式を開いた。

全日本軟式野球連盟は、本年度から小中学生が使う軟式野球ボールの規格を変更。使えなくなったボールを有効活用するため、揖斐郡内で少年野球の審判をしている大垣キワニスクラブの野口章司交流委員長らが少年野球チームに提供を呼び掛けたところ、六百個が



野口交流委員長からボールを受け取るママドラ会長車、タンさん。22日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで。

集まった。

贈呈式には、両クラブの会員四十人が出席。マニラキワニスクラブのロザリнда・ママドラ会長と元ルソン地区カバナーのネルソン・タンさんに、野口交流委員長が目録などを手渡した。タンさんは「心から感謝している。大垣キワニスクラブを名誉と誇りあるキ

ワニスファミリーの一員としてフィリピンの皆に伝えたい」とあいさつした。

ボールは今月中にフィリピンに送り、小中学校に寄付される。

(服部桃)